

令和4年度森林環境教育指導者養成講座 講座だより

第1号（7月発行）



【開講式の様子】

7月23日(土)に富士市交流プラザにて養成コースの第1回を開催しました。県内各地から集まった受講生がこれから全10回の講座を通して、森林環境教育指導者に必要な考え方や視点、知識、伝え方の技術を学びます。個性豊かな受講生が互いに学び合いながら過ごしていきます。

はじめに静岡県環境ふれあい課より開講式を行いました。事務局からは県が求める指導者像や各講座の目標について説明しました。次に、受講者同士が「互いを知る」時間とし、インタビューゲームを行いました。お互いに質問をし合うことで、自己紹介だけでは知ることができなかった森林環境教育への想いを聞くことができました。



【インタビューゲームの様子】



【増田直広氏の講義の様子】

午後は鶴見大学の増田氏から「環境教育の進め方」をテーマに、環境教育が果たす役割や、SDGsを達成するための環境教育のあり方について講義がありました。講義の最後に、環境教育は多様な価値観に気づく場であり、「参加者の個性を大切にしたい学びの場づくり」が重要であること、指導者は「参加者と共に発見や感動を分かち合う存在」であることが語られました。

＜発行元＞

静岡県暮らし・環境部環境局環境ふれあい課 自然ふれあい班
電話:054-221-2848 Eメール:fureai@pref.shizuoka.lg.jp